

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中

報告日 2022年10月23日

送信先: report@r-ict-advisor.jp

派遣決定番号

報告回数 2日目

## 令和4年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

### 1. 申請団体情報

#### 1-1. 申請団体

団体名	信濃町	代表者名	横川 正知		
担当者部署	総務課まちづくり企画係	連絡先電話番号	026-255-1007		
担当者役職	係長	担当者氏名	小林 義尚	連絡先E-mail	
住所	389-1392 長野県信濃町大字柏原428-2				

#### 1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

### 2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	家中 賢作
評価	大変よい
上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に）	講演会では、国が示す自治体DX推進の意義を踏まえた上で動向からEBPMの概念と必要性をつくば市の事例など具体的な取り組みへつないで説明いただき、紙ベースで保管されている行政データを利活用するためデジタルデータへと掘り起こす意義について参加した職員と共有できた。また、参加できなかった職員に向けて講演内容をまとめた動画を提供いただいたので、参加出来なかった職員に対する啓発も行った。
アドバイザーへの要望事項	職員の意識及び知識に大きな差があり、研修内容を理解できるか不安でしたが、職員によってはあるものの自治体DXについて一定の理解を得ることができたと感じています。

### 3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

3-1. 対応日・時間	派遣日予定日（申請書より）	支援内容（申請書より）	期日・支援内容の変更あり	WEBでの手続き日	受付番号
	#N/A	#N/A	有	2022年6月20日	73
	実施した派遣日	実施した支援内容	開始時刻	終了時刻	内休憩時間（分）
	令和4年10月14日	講演会	12時00分	18時00分	60
				活動時間（分）	300
3-2. 派遣場所	会場名	信濃町役場	最寄駅	JR黒姫駅	
	所在地	長野県上水内郡信濃町大字柏原428-2	最寄駅からの交通手段	公用車送迎	

### 4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

<https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/>

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

### 5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】	人数
	職員	25人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい）	庁舎内全体として、デジタル活用による業務改革への心理的ハードルが高いため、DXについての理解と機運の醸成を図る段階である	
支援により目指す成果（具体的にご記入下さい）	幹部職員から一般職員まで「なぜDXに取り組む必要があるのか」「オープンデータを活用したEBPMの重要性が求められるのか」など、行政DXについて一人でも多くの職員が自分事として考えてもらえるような機運の醸成を図る。また次年度の前期までには実効性のある全体計画が策定できるよう取り組む	
アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい）	第2日目職員全体のDXに関する概念理解について講義形式で説明いただき、庁舎内DX推進のための共通言語となる価値観の共有を図っていくため、つくば市で実際に管理職研修等で使われている研修内容について説明いただき、また第3日目の研修で主幹以上級を対象として、EBPMの実践グループワークを計画しているので、その前提となるデータ利活用に関する講義を実施した	

支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	今後の人口減少で限られたリソースの投資先をより効果的に選択決定するためデータ活用とEBPMが求められることについて自分事とした背景の理解を職員にしてもらえた。また、個人情報保護法の趣旨や目的としてのデータ流通の基となる概念を理解することにつながった。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	比較的若手職員の参加者が多く、主幹及び係長以上の参加が限定的であったことから今後のDX推進で巻き込む必要のあるそれらの職員を対象とした研修会の実施が必要	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 本公演会のみでアンケート実施せずに、講演内容のアーカイブ動画を全庁配信をして、その後アンケートを実施する予定	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるものをリストより選択下さい	③現段階では課題・問題が残っているため未定
事業の最終的な目指す姿	DXをキーにサービスデザイン思考による職員のマインドセットがなされ、日常的に業務のPDCAサイクルを行いながら変革し続ける組織となること	

未記入のセルが有ります。以下の項目に水色と黄色のセルが残っていないかご確認下さい。  
 なお、その他を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

1-1.

## 6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。



